



フラットなメッシュディスクに立体感を引き出していくのが深く彫り込まれたセンターパートだ。スタンダードを貫きつつ、リムの深さだけに頼らない足元全体の存在感を引き出している。

メッシュディスクと相性抜群なステップリムで、足元の深みを打ち出す。リムアレンジに対応しているため、パフォーマイイトに代表される光沢強調からブラッシュドのような重厚感の引き出しまで、質感のコントロールは自由自在だ。



ベーシックな2×10で展開するメッシュデザインは、大口径となるほど足長でスタイリッシュなフェイスを魅せていく。淡色カラーをチョイスすれば、スポークサイドの陰影も楽しめる足元に仕上げる事が可能だ。

## THE RECOMMEND WHEEL

SEMAショー出展で注目を集めた2J搭載のS13は、前後10.5J×18-31のマイスターM1をマッチング。フロント70mmオーバー、リヤ100mmオーバーとなる迫力のプリスターラインをスタイリッシュさも備えたメッシュ×深リムで引き立てた。



# 迫力のネオクラレーシーさえも従える 深リム×メッシュの絶対的な安定感



## WORK

# MEISTER M1 3PIECE

ワーク ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

D1ライツへ参戦しているS13はステアリングの切れ角確保も必要となるために、フロント9.5J×17-13、リヤ10.5J×18-31でマイスターM1をマッチング。スポークが少し遅く仕上がったフロントの足元はクラシカルな佇まいも備わっている。

INCH	SIZE	PRICE (without tax)
16	5.0J~11.0J	¥49,000~¥61,000
17	7.0J~13.0J	¥63,000~¥75,000
18	8.0J~16.0J	¥78,000~¥94,000
19	8.0J~16.0J	¥88,000~¥104,000

※ディスクカラー：シルバー、マットカーボン、ブラック、チタンゴールド  
※セミオーダーカラー：同価格  
※カスタムオーダープラン：リムアレンジ、セミオーダーカラー、特殊P.C.D.  
※付属品：エアバルブ、リムステッカー  
※センターキャップはオプションです



スポーツカーを魅せる基本アプローチといえば、静止状態でもスピード感を放つワイド&ロースタイルだ。特に最近では、スタイリングの限界突破を果たすオーバーフェンダーやワイドボディキットが豊富にデリバリーされているので、誰もが手軽に最上級のワイド&ローを打ち出せる好環境となっている。ただ、ワイドボディを手に入れて悩ましいのは、仕上がりのキモとなる足元の魅せ方だろう。というのも、さらなるスピード感を打ち出そうとスポークホイールへ注目するユーザーは多いのだが、ボリュームあるフェンダーデザインでは足元が負けてしまうようなケースだってあるからだ。

そこでオススメしたいのは、スタイリングや

フェンダーのボリューム感にも左右されることのない存在感を足元に注ぐことができるマイスターM1・3ピース。奇をてらわない2×10で展開されたメッシュディスクはホイール単体で見るとシンプルに感じるかもしれないが、このスタンダードさがマイスターM1最大の武器であり、車種やスタイルを問わずに足元を決める絶対的な安定感の源となっている。

その真価は、マッチング車両で今回用意されたTNサービス京都のS13を見ればわかりやすい。ロケットバニーのワイドボディキットで構築するネオクラシックなレーシーワイドはシームレスなプリスターデザインなので、足元が主張しすぎても控えすぎてもアンバランスな仕上がりにってしまう難しいスタ

イル。しかし、マイスターM1ならどんなアングルから眺めてもメッシュ×深リムが絶妙に冴え渡り、スタイリング全体でバランス良く魅せられるのだ。

なお、大口径になるほど足長になって洗練されていくスポークを活かす、前後異径マッチングは要チェック。二台の足元は同じように見えるかもしれないが、ホワイト&イエローのS13はフロント17インチ、リヤ18インチのマッチングとすることで、フロントセクションにクラシカルなスパイスをさりげなく添えていた。

スタンダードな足元だからこそ、しっかりと極まるワイド&ロースタイル。メリハリの効いたボディを従えていく絶対的な安定感で、愛車を死角のない一台へと仕上げていこう。